



On your marks, Set

校長 矢野 尊久

2010年の陸上競技の規則改正で国際大会やオリンピックでのスタート合図は「On your marks, Set」になりましたが、先日行われた田無第二中学校運動会でのスタートでも生徒が行うスタート合図に、この言葉が使われていました。今年は、第33回オリンピック競技大会がフランス・パリを中心に開催されますので、合図ひとつですがオリンピック、パラリンピック競技を身近に感じるようになっていました。

さてこの時期、運動会の意義について考えさせられます。ここで思い出すのは、ダニエル・キム教授の提唱する「成功循環モデル」です。これは、組織の結果の質を高めたいときには、まず関係性の質を高めるべきという考え方です。まず、集団において関係性の質が高まると、組織員同士のアイディアに対して前向きな意見が出るようになります。そして、組織全体の思考の質が高くなり、行動と結果につながるといえるものです。このように一見遠回のように見えますが、持続的に結果を出すためには、関係性の質に着目して、良いサイクルを回していくことが集団の質の向上には必要という理論です。

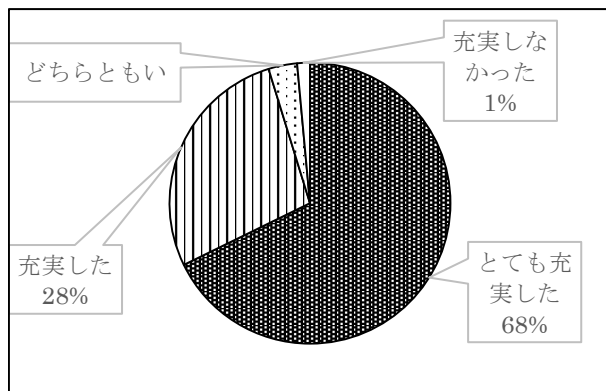
運動会では学級という組織集団が成長するための仕掛けがあります。それは団結して勝つという結果だけでなく、学級の一人ひとりの存在が誰一人欠かすことのできない大切な存在であるということ意識しないと成り立たない競技、例えば学年種目や全員リレーなどです。これらは学級の生徒たちが周囲、他人のことも考え、自分は何ができるかを考えて初めて成立する競技だからです。ここでは一人欠けても前へすすめないのです。その中で生徒たちが考え、協力して乗り越えていった体験はいくつかのメリットがあります。「成功循環モデル」では次の4つことを挙げています。①客観的な振り返りをするきっかけができる、②コミュニケーションが活性化する、③集団への愛着、思い入れが増加する、④急な変化への対応力が育つことだそうです。そしてその循環の中で欠かせないことが担任や学年、先生たちの関わり（指導）です。「成功循環モデル」では、①発言の機会を平等に与える、②目標の共有化、③コーチング・人材育成、④行動を評価してあげることを挙げています。これは正に中心となる担任、教師を中心に行うべきことです。生徒たちの話し合いや意見を言う機会を設けたり、「〇〇までがんばろう」とか目標を具体化して決めていたり、生徒たちにリーダーや役割を与え、しっかり教師が見守り育てていく、そして成功も失敗も教師が生徒と分かち合い評価し、時には褒めることではないでしょうか。そんな意味で「成功循環モデル」をグッドサイクルにするために教師の力はとても大きく、教師もその組織員の一員であるということだと思います。（だから担任の先生は学級カラーの服装を着るのでしょうか……）

運動会後、どの学年の生徒作文にも充実感や成長、様々な気付きが書かれていました。オリンピックとは違い、運動会というとても身近な競技には、生徒たちの成長の足跡がたくさんあるのです。「On your marks」のmarkには「跡」「印」という意味もありますが、生徒一人ひとりの足跡が鮮明に付けられた運動会だったと思います。

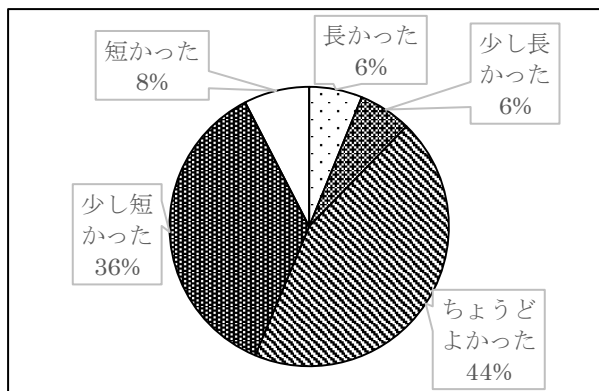


生徒運動会アンケート結果（全学年）

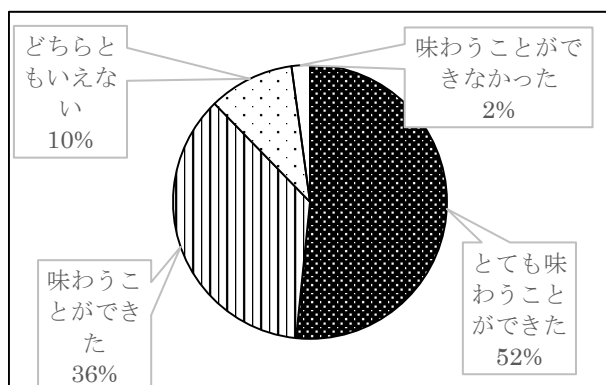
1 今年の運動会は充実したものになりましたか。



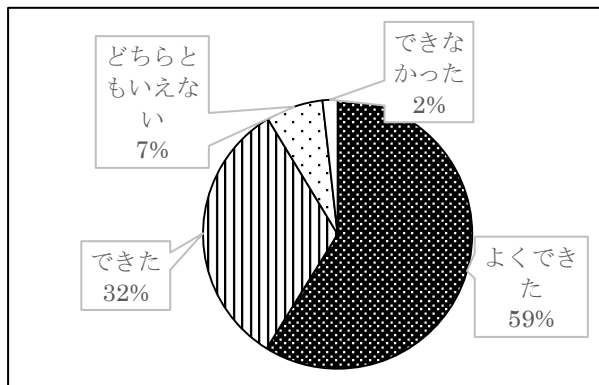
2 運動会に向けての練習時間はどうでしたか。



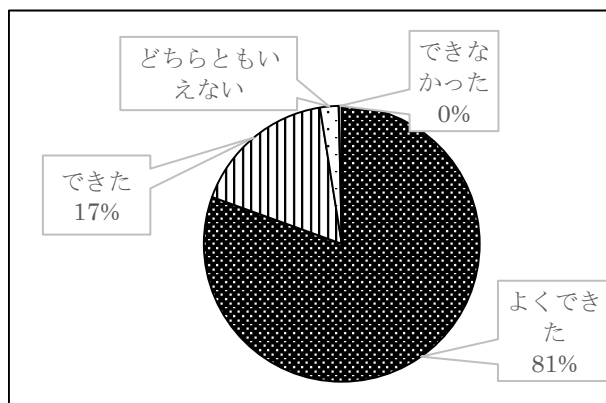
3 学年種目を通して達成感を味わうことができましたか。



4 運動会の練習時間は学級で協力して取り組むことができましたか。



5 運動会当日は学年で協力して取り組むことができましたか。



○保護者感想抜粋

- ・どの競技ものびのびと楽しくやっており、クラスや他の学年も応援するなど中学生らしい姿を見ることができました。
- ・小学校と違い表現運動がなかったので、勝ち負けに偏るところもありましたが、勝っても負けても盛り上がっていました。
- ・子どもパワーと頑張る笑顔にこちらが活力をいただきました。小学校の運動会とは雰囲気は全然違い、入学後数カ月で心身ともに成長しているように感じました。
- ・走ることが嫌いな選手には配慮された玉入れがあったのは良かったです。
- ・ムカデ競争は、どのクラスも怪我無く終わって何よりです。感動をありがとうございます。大ムカデでしか味わえない貴重な体験がありますね。
- ・全員リレーでみんなが頑張っている姿が素敵でした。団結力を感じました。玉入れ走は初めて見ましたが、子どもは楽しかったと話していました。マスクなしの笑顔の運動会でした。

○生徒自由意見抜粋 （ ）の数字は学年

- ・応援をしているときに本当に心がひとつになったと感じた。ムカデ競争では全員が思い切って声を出して一周でき、とても感動し、思い出に残る運動会になった。(3)
- ・今年の運動会は中学校最後の運動会として最高のものになった。クラスみんなで練習・本番を通して協力し、応援しあえたことが嬉しかった。クラスの壁を越えて切磋琢磨できたなど感じた。(3)
- ・過去最高に楽しかった運動会になりました。実行委員の二人が最初に目標を明確にしてくれましたことで何を目指して練習しているのかよく分かり、とても感動した運動会になりました。(3)
- ・結果は最下位だったクラスの空気が悪くなることはなく、むしろ仲良くなれたクラスの良いところが出てよかった(2)
- ・なかなかうまくいかないことがあったけど本番ではみんなで息を合わせて最高記録が出せた。実行委員としてみんなをまとめるのは大変で難しかったけれど良い経験ができた。(2)
- ・見学で出られなかったけれど団結が味わえた(2)
- ・誰の失敗も攻めずに前向きに頑張っているみんながすごかったです。(1)
- ・中学で初めての運動会で分からないことがたくさんあったけれど不安や緊張の気持ちよりも期待や当日楽しみという気持ちがあったので当日は緊張しないで取り組めた。(1)